

## 寮の匂い

Kota

僕は寮に住んで6年目。今年が最後の寮生生活です。僕が見てきた寮の事をいっぱい聞いて欲しい。でも全て知ってもらうには、とてもたくさんしたい話があって、困ります。今回は匂いについて書きたいと思います。

匂いって昔の気分や情景を思い出したりしませんか？

僕は新築の匂いを嗅ぐと、小学校の時の塾を思い出します。

雨に濡れ始めたアスファルトの匂いを嗅ぐと、中学生の時の家の前の道を思い出します。

土の匂いを嗅ぐと、雑木林に昔作った秘密基地を思い出します。

ハーバルエッセンスというシャンプーの匂いを嗅ぐと、留学していた高校時代を思い出します。

始めて吉田寮を訪れると、寮の匂いが印象に残るでしょう。

かび臭いような、埃っぽいような、木の匂いです。

100年もの間、毎年住んでいる人の手によって磨かれてきたこの木が、梅雨に入ると梅雨の匂いを出します。

夏には蚊取り線香の、夜には中華料理の、あの部屋の前ではガラムというタバコの、冬にはコタツの木の乾いた匂い、春になる頃には中庭中に咲く水仙の、寮祭の時期には構内から沈丁花の匂いがします。相部屋の人が変わるたび、部屋は違う匂いになります。

いつも嗅いでる匂いはすぐに慣れ、気づかなくなります。でもそれは記憶の奥底にずっと刻まれていて、はっと思い出す時、寂しいような、懐かしいような、嬉しいような不思議な気分になります。

一ヶ月、二ヶ月の海外旅行から帰ってきた時、そして2週間の入院から帰ってきたとき、この寮の匂いに本当にほっとしました。涙が出そうになりました。

吉田寮は

とてもきれいでとてもきたない

とても楽しくてとてもつまらない

とても落ち着いてとても居づらい

とても奇異でとても普通

とても好きでとても嫌い

とても複雑でとても単純

こんな場所です。

でも全てひっくるめて

**いの白いだよ、吉田寮。一度遊びにおい**

で!